

「コロナとのつきあい方滋賀プラン」に基づく7月10日以降の対応について

滋賀県

(令和2年7月9日)

滋賀県における新型コロナウイルス感染拡大防止対策

○ 7月10日以降の対策

「コロナとのつきあい方 滋賀プラン」に基づき、感染拡大防止対策を実施。感染状況が拡大傾向にないことから、「滋賀県新型コロナウイルス感染症対策本部第16回本部員会議」（5月29日開催）時の決定方針を継続する。

対策の内容	7月9日まで	7月10日以降
①外出自粛	・外出自粛の要請は行わない ・「滋賀らしい生活三方よし」の実践を県民に呼びかけ	
②イベントの開催自粛要請	・イベント主催者に対し、開催自粛を要請 ➢ 概ね3週間ごとに本県の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、段階的に緩和（詳細は別紙） 【開催にあたっての上限の目安】 屋内1000人（収容率50%以内） 屋外1000人（十分な間隔）	・イベント主催者に対し、開催自粛を要請 ➢ 概ね3週間ごとに本県の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、段階的に緩和（詳細は別紙） 【開催にあたっての上限の目安】 屋内5000人（収容率50%以内） 屋外5000人（十分な間隔）
③施設の使用制限の要請等	・使用制限の要請を行わない ・事業者に対し、入場制限等の実施も含め徹底した感染防止対策の実施を要請	

【別紙】 イベントの開催自粛の段階的緩和の目安（その1）

- 6月1日より、概ね3週間ごとに本県の感染状況や感染拡大リスク等について評価を行いながら、段階的に緩和を行う。
- 感染状況等に変化がみられる場合は、目安の変更や必要な対策等を実施する。
- 8月1日以降については、国の方針に基づき改めて検討を行う。

【イベント開催に当たっての留意事項】

- 手指消毒やマスク着用、発熱等の症状がある者は外出等を避けるなど、基本的な感染防止策の徹底。
- イベント主催者や出演者に「業種別ガイドライン」等に基づく行動、参加者の連絡先把握、LINE「もしサポ滋賀」による感染拡大防止システムの活用、イベント前後の感染対策（行動管理含む）の呼びかけ。
- イベント主催者は、特に、全国的な移動を伴うものには格段の注意。

＜基本的な考え方＞（収容率と人数上限でどちらか小さい方を目安）

時期		収容率の目安	人数上限の目安
ステップ① (6/1~)	屋内	50%以内	100人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	200人
ステップ② (6/19~)	屋内	50%以内	1000人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	1000人
ステップ③ (7/10~7/31)	屋内	50%以内	5000人
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	5000人

【別紙】 イベントの開催自粛の段階的緩和の目安（その2）

- 密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応。
- プロスポーツ等においては、無観客でも感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手等の行動管理

＜具体的な当てはめ＞

時期	コンサート等	展示会等	プロスポーツ等	お祭り・野外フェス等	
				全国的・広域的	地域の行事
ステップ① (6/1~)	○ 【100人または定員の50%のどちらか小さい方を目安（屋外200人以下）】	○ 【100人または定員の50%のどちらか小さい方を目安】	×	×	△ 【100人または定員の50%のどちらか小さい方を目安（屋外200人以下）】 ※特定地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可
ステップ② (6/19~)	○ 【1000人または定員の50%のどちらか小さい方を目安】		○ 【無観客】		○ ※特定地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可（敬老会、子ども会など）
ステップ③ (7/10~7/31)	○ 【5000人または定員の50%のどちらか小さい方を目安】				

8月1日以降のイベントの開催自粛の考え方

- 現時点での国の方針に基づき、下記のとおりとする。なお、今後、国の方針に変更等があった場合においては、改めて検討を行う。
- また、感染状況等に変化がみられる場合は、目安の変更や必要な対策等を実施する。

<基本的な考え方>

時期		収容率の目安	人数上限の目安
8/1~	屋内	50%以内	上限なし
	屋外	十分な間隔 ※できれば2m	上限なし

<具体的な当てはめ>

- 密閉空間で大声を発するもの、人との間隔を十分確保できないもの等は慎重な対応。
- プロスポーツ等においては、無観客でも感染対策徹底、主催者による試合中・前後における選手等の行動管理

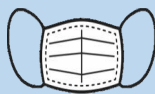
時期	コンサート等	展示会等	プロスポーツ等	お祭り・野外フェス等	
				全国的・広域的	地域の行事
8/1~		○ 【定員の50%を目安】		△ 【十分な間隔】 (できれば2m) ※感染状況を踏まえて、判断	○ ※特定地域からの来場を見込み、人数を管理できるものは可(敬老会、子ども会など)

イベント（地域の行事）開催に当たっての感染防止策（例）

【実施してほしいこと】

□ マスクの着用

(※気温・湿度の高い中でのマスク着用は熱中症に注意
屋外で人と十分な距離を確保できる場合には、マスクをはずす)



□ こまめな手洗い 手指の消毒



□ 室内の換気

(暑さを避けるため、エアコンを利用するなど、部屋の温度を調整)

□ 席を離すなどの十分な距離の確保

□ 他者と共有する物品やドアノブなど手が触れる場所を定期的に消毒

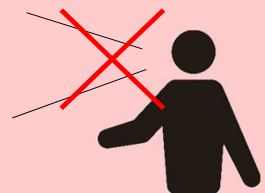
□ 参加者の連絡先の把握

□ ゴミを回収する人は、マスクや手袋の着用

【控えてほしいこと】

□ 発熱等の症状がある方の参加

□ 密閉空間での大声の発生、 歌唱や声援



【食事をする場合は】

□ 大皿は避けて、料理は個々にする

□ お酌、グラスやお猪口の回し 飲みは避ける



県民の皆様への呼びかけ

滋賀らしい生活三方よし～「新しい生活様式」の実践例～

- ✓ 毎朝、体温測定、健康チェック
- ✓ 発熱がある場合は自宅で休む
- ✓ 家に帰ったらまず丁寧に手洗い
- ✓ こまめに換気しつつ、エアコンの温度設定を調整
- ✓ 免疫力を向上させる健康づくり（水分補給も忘れずに）



- ✓ 感染者が多数発生している地域への移動は極力控える
- ✓ 発症した時のため、自分の行動を残す
- ✓ テレワークやローテーション勤務の活用
- ✓ 通販も利用する
- ✓ 毎日、滋賀県の感染情報を共有
- ✓ 新型コロナウイルス感染拡大防止システム「もしサボ滋賀」、接触確認アプリ「COCOA」の導入
- ✓ 今こそ、一人も取り残さない

あなたと、
大切な人を
守るために



- ✓ 症状がなくてもマスクを着用し、咳エチケットの徹底
 - ※気温・湿度の高い中でのマスク着用は熱中症に注意
 - 屋外で人と十分な距離を確保できる場合には、マスクをはずす
- ✓ 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける
- ✓ 観光地においても、人と人との間隔を確保する
- ✓ 混んでいる場所や時間帯は避けるなど、人と人との接触機会を減らす
- ✓ 感染防止策が徹底されていない施設等への外出は控える
- ✓ 会話をする際は、可能な限り真正面は避ける
- ✓ ピワイチなどにより、滋賀の魅力を改めて感じながら健康増進につなげる

【参考】

■ 現在のステージ 「注意ステージ」

		注意ステージ 感染が一定抑制されている →3密に注意して活動	7月8日 現在の状況	
判断指標	緊急事態宣言の状況	大阪府、京都府に 発令されていない	発令されていない	
	県内状況	感染経路が不明な 新規陽性者数	14日間連続ゼロ	46日間連続ゼロ
		入院患者受入 病床の稼働率	30%未満	3.7%
		人工呼吸器等 の稼働率	人工呼吸器の稼働率 30%未満	0%